

川崎重工業株式会社 西神戸工場 総合事務所 三号館



外観

国内外の100におよぶ関連企業とともに川崎重工グループを形成する「川崎重工業株式会社」。主に油圧機器装置・船用機器・産業用ロボットを製造する「西神戸工場」に、総合事務所三号館が完成した。



1Fトイレ入口

執務室側からの目線に配慮し、トイレエリアへの入口を1ヶ所にして、外の通路からは、男女トイレ、バリアフリートイレ、誰でもトイレのどのトイレに入室したかがわかりにくいレイアウトにしている。



1F誰でもトイレ入口

すべての従業員をひとりの個人として尊重する企業風土を培うため、性的マイノリティにも配慮した誰でもトイレを設置。扉にすりガラスを設けることで、満空状況がわかるようにしている。



1F誰でもトイレ

誰でもトイレは、用足しから手洗いまで個室で行える個室完結型。空間を広めに確保し、性的マイノリティ以外にも、従業員誰もがリフレッシュしたり、気持ちの切り替えが行えるスペースとなるよう配慮している。



1Fバリアフリートイレ

車いす使用者だけでなく、オストメイトにも配慮し、汚物流しを備えたコンパクトバリアフリートイレパックを設置している。



1F男性トイレ 全体

トイレの内装は、グレーを基調に淡色木目のブース材を使用した男女共にすっきりと落ち着きのある空間。大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに利用者のプライバシーに配慮している。

1F男性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーの鏡裏壁面に、意匠性を高めるガラススタイルを使用。カウンターを一段高くしてドライエリアを設けることで手荷物の置き場に配慮。また、フロントパネルを斜めに設置し、アプローチしやすくしている。

1F男性トイレ
小便器コーナー

小便器は、センサーを陶器背面に内蔵し、スッキリとした外観が特徴のマイクロ波センサー壁掛小便器セットを採用。さらに、青色LEDのターゲットマークにより、尿はねや飛び散りを低減、衛生性にも配慮している。

1F女性トイレ
洗面コーナー

男性トイレ同様に、印象的なガラススタイルを採用。衛生性を考慮して、非接触で使える自動水栓と自動水石けん供給栓を採用し、器具に触れずに石けんで手洗いができる設備が整っている。

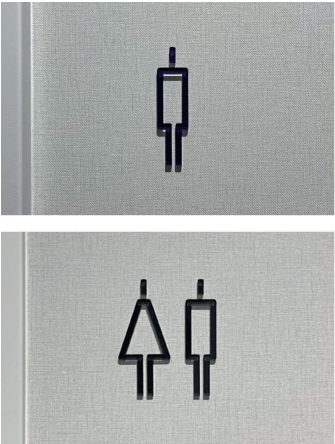
1F女性トイレ
大便器ブース

大便器は、床の衛生性や清掃性に配慮した壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式を採用。また、洗浄リモコンをセンサースイッチとし、非接触で便器洗浄が可能となっている。



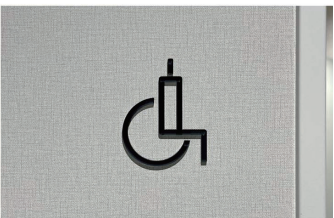
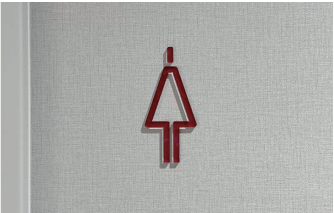
4Fトイレ入口

1Fトイレと同様にほかのフロアも、周囲からの視線が気になる人に配慮し、トイレ出入口を1ヶ所として、廊下からはどのトイレ空間に入ったのか、わかりにくいレイアウトとしている。



4Fトイレサイン

社内のVI（ビジュアルアイデンティティ）ガイドラインに則ったシンプルなビクトグラムを採用。男性・女性トイレマークには濃色のカラーを用いているが、誰でもトイレとバリアフリートイレはブラックとしている。



川崎重工業株式会社 西神戸工場 総合事務所 三号館



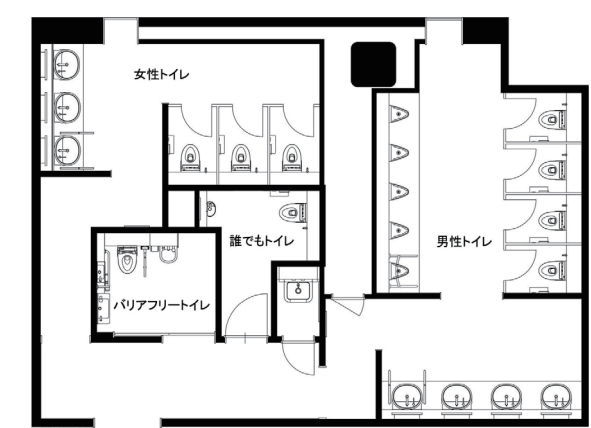
4F男性トイレ
洗面コーナー

洗面器の間隔、通路スペースともにゆったりと利用できる寸法を確保した洗面コーナー。身繕いに配慮して、出入口付近に全身鏡を設置している。



4F男性トイレ
小便器コーナー

小便器の足元には、光触媒による優れた抗菌・抗ウイルス効果により、尿はねによる菌やニオイの発生を抑え、清掃性に優れたハイドロセラ・フロアPUを採用している。



1Fトイレ図面

性別を問わずに利用できるように、男女トイレの間に、バリアフリートイレと誰でもトイレを配置。また、トイレ入口を1ヶ所にすることで、通路からは、どのトイレに入室したかが、わかりにくいレイアウトにしている。



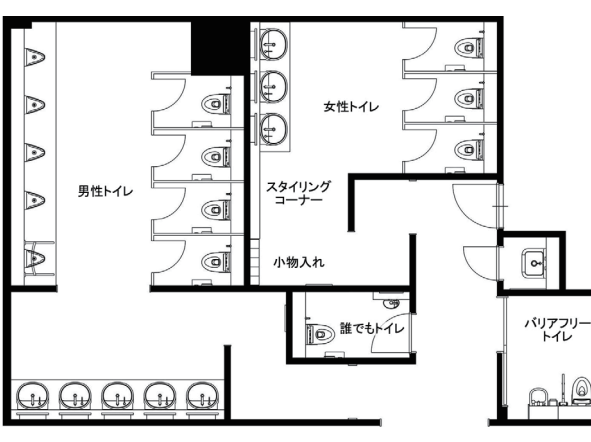
4F女性トイレ
洗面コーナー

従業員の利用が多いフロアの女性トイレには、スタイリングコーナーと小物入れを設置。手洗いと身繕いを分散することで、洗面コーナーの混雑緩和にも寄与している。



4F女性トイレ
スタイリングコーナー

スタイリングコーナーには、顔全体に光が均一に当たるよう設計されたLED照明付鏡を採用。また、小物入れの設置により、オフィストイレで使用する日用品が保管でき、女性ワーカーの快適・利便性を向上している。



2・4・6・8・10Fトイレ図面

執務フロアのトイレにも、バリアフリートイレと誰でもトイレを設置。車いす使用者やオストメイト、性的マイノリティなどの多様な利用者に配慮し、従業員の働きやすい環境を実現している。



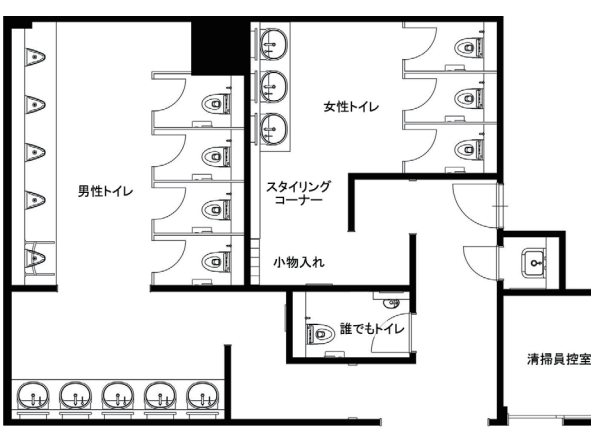
4F誰でもトイレ

1Fのみでなく、全フロアに誰でもトイレを設置。性別を問わないことにより、急いでいる時や男性・女性トイレが混雑している時、リフレッシュや気持ちの切り替えなど、用途・目的に応じて利用することができる。



4Fバリアフリートイレ

4・6・8Fのバリアフリートイレには、オストメイトに配慮し汚物流しを設置したコンパクト・バリアフリートイレバックを採用している。



3・5・7・9Fトイレ図面

誰でもトイレは全フロアに設置。通常階ではバリアフリートイレが設置されているスペースを、隔階で清掃員控室として運用している。

水まわりの特長

建物の特徴

国内外の100におよぶ関連企業とともに“技術の企業集団”川崎重工グループを形成する「川崎重工業株式会社」。「西神戸工場」では、建設機械、産業機械や船舶用に用いられる油圧機械を製造。さらに、産業用ロボットメーカーのバイオンアとして、自動車業界や電機・電子業界をはじめとするさまざまな業界向けに、多彩なカワサキロボットを供給している。総合事務所三号館はワーカーの快適性・生産性向上を目的に、主なコンセプトとして「新たな時代を切り拓く独自性・革新性を創造できるビル」「快適性、利便性、安全性、信頼性の高いビル」を掲げ、安心安全な執務空間で従業員がフレキシブルで、さまざまな働き方ができる空間を創出している。

水まわりの特長

総合事務所三号館は水まわり空間においても、多様性に配慮したダイバーシティ推進が、積極的に取り組まれている。性別を問わず利用できる誰でもトイレを全フロアに設置。空間を広めに確保し、性的マイノリティ以外にも、従業員誰もがリフレッシュしたり、気持ちの切り替えが行えるスペースとなるよう配慮している。また、障がいのある従業員へ配慮したバリアフリートイレも6フロアに設置し、オストメイトが利用する汚物流しを完備している。さらに、女性従業員への配慮としては、偶数階のトイレに、身繕いできるスタイリングコーナーとオフィストイレで使用する日用品を保管できる小物入れを設置。新しい総合事務所のトイレは、従業員にとって働きやすい環境の実現に寄与している。

建築概要

名称	川崎重工業株式会社 西神戸工場 総合事務所 三号館
所在地	兵庫県神戸市西区榎谷町松本234
施主	川崎重工業株式会社
設計	鹿島建設株式会社 関西支店 建築設計部
施工	建築 鹿島建設株式会社 関西支店
	機械 川崎設備工業株式会社
	電気 きんでん・きたむら共同企業体
竣工年月	2024年1月
敷地面積	142,971.52㎡
建築面積	1,621.59㎡
延床面積	15,013.17㎡
構造・階数	鉄骨造・地上10階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC2C系
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524
ウォシュレットPS(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5554AUPR
棚付二連紙巻器:YH701
マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU22系
小便器用手すり:T112CU22
洗面器:L582CMS
壁掛手洗器:LSE90AAPR
自動水栓一体形電気温水器:REAH03B1系
自動水石けん供給栓:TLK07S03J系
コンパクト・バリアフリートイレバック:UADAK21L*A1A**2W
LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80017